

まつかわ

<地区人口と世帯数>

男 7,477人 女 7,173人
計 14,650人
世帯数：6,678世帯
(10月1日現在)



松川支所からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所松川支所
〒960-1241 福島市松川町字杉内33番地
☎567-2111 ☒537-2298

「敬老会・いき生きふれ愛会」が開催され、地区で長寿をお祝いしました

4年ぶりの開催となる今年度は、地区ごとに実行委員会を立ち上げ、敬老会といき生きふれ愛会が合同で下記日程により開催され、長寿をお祝いしました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対象者を限定しての開催になりましたが、各実行委員会とも招待者の皆さんに喜んでもらえるよう趣向を凝らした内容となりました。参加された方は、心温まる心づくしの会を楽しみました。



▲市長あいさつ
(齋藤副市長)(松川)



▲実行委員長あいさつ
(水原)



▲金谷川小全校児童による
合唱(金谷川)



▲オカリナ教室の皆さんの伴奏による
全員合唱(下川崎)

地区	日程	会場	参加者
松川地区	9月9日(土)	松川支所	160名
金谷川地区	9月19日(火)	金谷川小学校	82名
水原地区	9月18日(月)	旧水原小学校	68名
下川崎地区	9月9日(土)	下川崎小学校	71名

秋の全国交通安全運動～梨を配って「交通事故無し!」～

交通対策協議会松川支部では、秋の全国交通安全運動の一環として9月20日(水)金谷川地区内の市道で「交通事故無し」をドライバーへ呼びかけるため啓発活動「セーフティまつかわフェスティバル」を4年ぶりに実施しました。

当日は、各地区の交通安全協会、交通安全母の会、交通教育専門員、松川駐在所の皆さんが、ドライバーへ“梨”とチラシを手渡し安全運転を呼びかけました。

また、その後、JR金谷川駅前に移動し駅利用者へ反射材(リストバンド)とチラシを配布し交通安全を呼びかけました。



松川地域防災訓練が水原地区で実施されました

9月24日(日)に実施された今回の防災訓練は、福島南消防署署員による「AED使用(心肺蘇生)説明」や「被災者救助(搬送)訓練」、並びに第31分団による放水訓練などを実施するとともに、新たに町内会による自主防災組織を活用した「避難情報伝達訓練」を実施し、地域が孤立した際の一時避難所の設置や、現地災害対策本部への避難情報の伝達訓練を行いました。

参加者の皆さんは、激甚化する自然災害に、大雨などの際の早めの避難の重要性を感じ取られているようでした。



下川崎スポーツ防災フェスタが開催されました

9月17日(日)、下川崎小学校グラウンドで下川崎スポーツ防災フェスタが開催されました。今回で2回目となるこのイベント。町内会の皆さんの避難訓練から運動会が開始され、運動会種目として、バケツリレーや避難所で使用するプライベートルーム設置などを取り入れ、最後に消防団第32分団による放水訓練が行われました。

参加された方が、自然に防災意識を高められるよう工夫され、子どもたちから大人まで、家族ぐるみで楽しみながら、災害に対する避難の重要性を学べるイベントでした。夜には花火大会が行われ、華やかに終了しました。



松川学習センターからのお知らせ

【編集】福島市松川学習センター
〒960-1241 福島市松川町字杉内33番地
☎567-2323/567-2390
☎567-2403

ふくしま花のまちづくり事業「花のまちガーデニング教室」 受講生募集

冬に咲く花の寄せ植えと管理について、楽しみながら学びお庭を華やかに飾りませんか。

- 日時 11月16日(木) 午前10時～
- 場所 松川学習センター 歩廊
- 定員 20名(先着順)
- 参加費 1,600円
(材料費・保険代。電話で申し込み後、学習センターへご持参ください。)
- 講師 ㈱福華園 紺野氏
- 申込み 11月6日(月) 午前9時より電話受付



信夫山トレッキング 参加者募集

身近にあるけど登る機会が少ない信夫山！体力増進のためにもトレッキングコースを登ってみませんか？

コースには、急勾配な場所や岩肌を登る場所もありますので、安全・快適に歩くためにも山登りの準備を整えてご参加ください。



- 日時 12月4日(月)
- 集合：午前8時50分 解散：午後4時20分
- 集合場所：松川学習センター
(市のマイクロバスで移動)
(所要時間約4時間30分 距離約4.9キロ)
- 定員 12名(先着順) ●対象者 松川地区にお住いの方
- 参加費 100円(保険代。当日徴収)
- 持ち物 昼食、行動食、飲み物、雨具、帽子、タオルなど
- 講師 日本山岳ガイド協会認定登山ガイド
齋藤 俊一 先生
- 申込み 11月6日(月) 午前9時～電話にて受付

図書室からのお知らせ ☎567-2403

おひざにだっこのおはなし会	おはなしロケット
対象：3歳までのお子さん とその保護者	対象：4歳以上～ 小学生まで
日時：11月2日(木) 午前10:30～	日時：11月4日(土) 午前10:30～
	テーマ：「昔話」

ふくしま読書の日

24日(金) 開室時間：午前9時～午後7時

11月の休室日

休室日 毎週火曜日・3日・23日・30日

スマートフォン活用支援講座(応用編)

市が提供する便利なアプリの利用方法を学ぶスマホ講座を開催します。総務省のデジタル活用支援推進事業に採択された事業者と連携して、指定の研修を受けた講師が丁寧に説明します。この機会にぜひワンランク上のスマホの使い方をマスターしてみませんか。

■日時、内容

日時	講座内容
12月1日(金) 10:00～12:00	防災アプリ、ふくしま健民アプリの利用方法
12月1日(金) 13:30～15:30	ふくしま健民アプリ、 ゴミ分別アプリさんあ～の利用方法

- 場所 松川学習センター 研修室3
- 定員 各回8人(先着順)
- 対象 市内居住の方でスマートフォンをお持ちの方
- 申込 開催日の3日前までにオンライン(右記QRより)
又はコールセンター090-1373-1667へ電話
- その他 ご自身のスマートフォンを持参ください。



読書週間特別展示「本の福袋」

司書のおススメ本が入っている、3冊1セットの福袋の貸出を行います。どんな本かはあけてからの楽しみ!?

展示期間：開催中～11月12日(日)



移動図書館しのぶ号巡回日程 11月8日(水)

金谷川小	下川崎小	松川小
10:00～10:50	13:00～13:40	14:30～15:00

松川の歴史紹介

地元を知ろう!“面白いぞ”松川の歴史

松川町文化財保存会会員 加藤 一郎

⑮いとどの清水(伊東殿の清水?)

中町のT字路から県道を土湯へ向かい旧雇用促進住宅の手前にかつて「いとどの清水」と呼ばれ、滾々と湧き出るきれいな泉があった。県道から10メートルほど入った大木の根本に湧き出ているそう。

明治33年には、旧松川小学校の校門前に水槽が作られ、清水から竹をくり抜いた樋で引き水して小学校の用水や中町本町の人の飲料水として大変重宝された。「千歳の水」という名前がつけられていた。

元々は、鎌倉時代に伊豆地方を領していた武将「伊東民部頼頭」が安積郡・安達郡・信夫郡の一部を治めることになり、更に松川郷を領することになった。この伊東頼頭(小塚家の大竹家の始祖と言われている)が、八丁目城を居所としていたことから「伊東殿の清水」と呼んでいたものがなまったらしい。江戸時代の信達一統誌に「館の腰にあり至て清き水なり 町家にて是を用ゆ 伊東殿ハむかし由縁ある人と見ゆれとも如何なる人が其講詳ならず(此水其人の掘給へし物なるべし)」とある。昔から、町の人々の喉を潤していた清水である。

戦後、水道が引かれるまで学校用水としても利用されたが、飲料水と学校雑用水の両方をまかなうには不足することもあり、結構大変だったと「松川のあゆみ」に記されている。また、町内に住む年配の方は、小学校の低学年の頃は、なんだか知らないで水を飲んでいて後で「いとどの清水」と呼ばれていることを知ったという。校内で飼っていた金魚の水を替えるのに薬が入った水道の水より「下の水槽から汲んだ水の方が良い」と何回か当番で水を汲みに行ったことを覚えていると話していた。

そのうちに清水は、水の出が悪くなり、チョロチョロとなってしまった。上水道の普及により、使われなくなった清水は、危険だからと埋められている。現在、清水の周囲に自生の山ツツジや椿が咲いて、県道を通る人たちの目を楽しませてくれるが、大木の下にいとどの清水があったことを知る人は少ない。

*この記事は、平成9年の「歴史高札」からの引用及び松川小学校百周年記念誌「松川のあゆみ」、郷土史「松川の今昔」ほか、町内の数人の話を元に記した。



いとどの清水：中央大木の根本にあった